



○萬秘傳之救書

一 產前產後金瘡血道損傷
氣付血苗

赤草三 蓬二 大角豆一

川骨一 人參一 沉香一

髮灰女

石細末塩湯一貼七分程

產前一二二同血下二三用

產氣付二二一

吞汁八 藕木 紅花 木通 此

三色ヲ 如常煎右之黑菜

用ル也

茶之拵ヤウノ夏

山赤竹何草ニ知ス

一 赤草 十月十一月ニ取ヤク時ニ

童使ヲカケ焼ナリ

一 ヨモギ 右ニ同其俣焼ク

一 大角豆 赤キ十八サケナリ

皮ヲ去リ使フ

一 髮灰 其ニ焼 男女ヲ入テ

一 人參 其ニ使 胸痛時燂

一 沉香 其ニ

一 川骨 水ニテ巨洗 鉄氣ヲ

ヲ忌竹刀ニテ刻

亦

産后ニ血多ク下シハ

难産後物不下ニ

産后振ニ突フ心有ハ

右三邑ノ煎汁ニテ用之

一切金瘡之内茶

并 芍 参 芍 苓

并 耳 各五分

如常煎用

加減

咽湯、葛根、麦門冬ツカ

熱氣有、虎ツカ

氣弱ツカ、倍、黃耆ツカ

疰ノ口血ハシルニ蒲黃ツカ

氣勞シテ憂多ニルニ黃耆

ツカ、筋ツキニ、棋郎子ツカ

上氣ツカ、山梔子ツカ、利結ツカ

排仁、虎ツカ、肢痛、木香ツカ

利下ツカ、為、倍、陳皮ツカ

ツカ、不食ツカ、縮、汝

嘔吐ツカ、霍香、痰ツカ

桔梗、半夏、咳氣ツカ

五味子、杏仁、陳皮ツカ

疰痛ツカ、乳香ツカ

右ノ通見合ツカ、減ツカ、用ツカ

一切ノ腫物氣腫使毒外間

風腫ツカ、凡毒ツカ

楠皮ツカ、三兩、忍冬ツカ、中ツカ、三兩、大黃ツカ、二兩

茯苓ツカ、二兩、車中ツカ、一兩

石一服ツカ、二又完ツカ、剪用

如減

熱氣甚ニ楠大ツカ、倍

痛大耳倍膿多ニ悉冬倍

氣弱クハ 參耆ヲ加

利結セハ 大黃ヲ倍

使毒下疳ニ 木通栢ヲ加

風腫凡毒ニ 栝樓根ヲ加

一骨痛氣腫古キ唐瘡萬

難愈物ニ

山飯來 八十分半生半炒

木通 二分五分 川芎 二分五分

桔梗 一分五分 苓 一分五分

本日

右刻七服ヲ一貼ニ二分七分

袋ニ入亦山飯來一服ニ十

一分四分ツ、別ノ袋ニ入天目

水三盃入二盃ニ煎間痛處

蒸テ其後用之ニ日後ニ白

水ノ沸タルヲ頭計ニカリ候

ナリ頭塩ヲフリカケ弱キ病

ハ頭計ニカリ候也

一唐瘡骨痛筋氣ニ尤吉

カニ雞ヲ黒燒シメ 川芎ニ五分

小麦壳ニ三分是ニ黒テ

山敗來一升ヲ七ツニ分一服ニ
水天目ニ五盃入テ三盃煎
汁ハ一度ニ天目ニ一フナリ右
ノ黒菜一又宛一日ニ三度用

○白蛇散

一真虫ヲハキ洗川ニテ巨洗
二寸程ニ切テ巨酒ニ付亦
シテ炒破粉ニメ吉鉄ニ
忌廉角白燒真虫ノ目亦ト
麝香一朱

右細末メ鈴香箱ニ入置也

香汁ハ

産前ニ薏吉莢ニ用之
産後ニ酒カ味噌汁赤白
痢ニワウヅクモクサ後物
不下ニ苓泄瀉ニ水亦食ノ
取湯嘔吐ニ荊芥長血白血
ニ香附子黄栢咳氣干姜
血道ニ酒金瘡味噌酒
氣付ニ水奠ニ酢タル酒
血苗ニ摻リ懸ル吐血ニ水
瘡疾ニ水中凡ニ白酒ニ塩入

下血ニ塩湯 強腹ニ荊芥

淋病ニ湯

馬ニハツエ草ヲモミ是ヲ古上ニ

如置右ノモミ汁ニテ用之ツエ

草ナキ時ハ陰ノ水ニテ用之ヲ

此外ニ如何程モ使フナリ

安神散

白茯苓 茯神 甘草

遠志 各一又 山茱 二又 人參七分

桔吏日 黃耆 一又ニラトリ蜜ニ

麝香 一末 木香 一分五リン

辰砂二分 沉香二分 白檀二分

右ノ分細末メ水ニテ用之

産后ノ四肢腫タルニハ酒

一 強リ肢霍乱瘧食傷ニ

黃栢三神ヲ 糊ニテ丸ニスル

巨酒ヲ入煉ルナリ

口中ノ菜 何ニテモ付之ル含糸

乳香 細辛 川芎 丁香

干 紫貝 明兒 連葉霜

各亦分細末メ吹也合取ハ刻シ

右ニ赤草ノ黑燒大ニ如 萬事ニ

使フナリ

萬腫物ニ口明ル藥

巴豆二兩皮去好酒五々入煮干メ
 鍋内ニテ巨クタキツテ亦酒
 シ右ノ半分入煉リ結扱セシメ
 漆ツ女カ加腫物ニ口明度所ニ
 如此可付北四時ニ口明ル
 ナリ其ハサツ、早ク是ハ項
 胃脊ニハ不可付
 一 蝟牛壳共ニ霜ニメ 胡ク油ニテ
 練付ル是ハ何方ニ付テモ不苦

下痢付藥

悉冬化 陽子 黃柏生 洗鹿 皂燒

各不分 桂粉女如 胡ク油ニテ付

△ 大血下使毒下痢万腫

物ニ小使ユ下ルナリ

三角豆粉ニ又五ト 大黃ニ又五分

合六又ヲ一貼ニ又宛膏夜

半曉三度ニ湯テ用下戸ニハ

湯ニ酒女加用ツヨキ人ニハ三

角豆ニ又五分 大黃ニ又五分 合

六又ヲ是モ用

此藥又西氏家傳賣不
人多每解散ナリ三服已

○南蛮香薷散

桔棟ノ葉六月五日用ノ内ニ取白
水一夜漬扱陰干テ莖ヲ去
粉ヲ十及ニ胡椒五分加ワリ
霍乱ニ塩湯塩十キ時ハ水
泄瀉ニ食ノ取湯虫臈ニ水

○何ノ虫ニテモ吉

我木 青皮 三枝 了子
于漆 各五分
右粉ニテ是程ニ丸大人小兒共
湯ニテ用

○下腹苗菜

大麦ツヒツキ粉ニテ十及
草中炊一及
右調合メ食ノ取湯ニテ用

○赤白痢ニ吉

黄栢三兩生酒ニツケ炊 香色
石ニ色ヌ
楊梅皮三及
右細末メ湯ニテ用

○腫物ノトイ菜

藤コブ黒焼 赤牛糞干粉ニテ
右亦分テ用吐ハ死不吐ハ生

○竹田、安氣圓

良香又 葛粉日 楊梅皮日

苦又 胡椒又 石細末メ

蜜ニテ煉又粉茶ニテモ

○淋病ノ薬

白花ノ根 柏栳根刻大 耳中女加

如常煎用之冷テ痛ニ至心ヲ

加用之

○加減五香湯

沉香 木香 藿香 丁子

乳香 大黃 荊芥各ホト

剪メモ振リ出シテモ但草ト思

トキハ不用之

○草茶

黃連 黃芩 大黃 ウコン

殊麻各ホト 剪メモフリテモ

○同甘茶

檜ノ葉ヲ生ニテ黒燒ヲ

麩粉女加胡ノ油ニテ付ル

○耳夕レノ茶

トゴノ羽ツ黒燒ヲ 胡ノ油ニテ

トキ石菖ノ白キ取ニテ耳ニ入

此書ノ末ニ合茶ノ銘有繁多
ナルニ因テ畧之上下正西川休閑
月川木村壽閑ト受授ノ書也

寛永九年未正月吉旦トアリ

予家之時子

元禄七甲戌五月下漸 好泉

南蛮外科一流之秘傳書

○エルハサシタ膏茶

一青多葉粉ヲ白ニテ杵和ラケ
鍊鍋ニ入胡ハノ油次ニヤシラ
油ヲ三分一加ヘテ多葉子ト
油ノ兩目ハナシ多ハ子油ニタ
ス三火ニテヒク煮出シタコノ
水ケハ謂ニ及ハス油ノ水ケニテ取
油ケフリ立時布ニテコシテラハ
シルサ堅カニシテ加減スハ

石誌ハ

一切ノ腫物ハシ上リタル上ニ付候ハ腫シロク也膿タル腫物ナレハ則吸出シ跡ヲ愈ス也惣メ多ハコ膏薬惣ニシリ也金瘡ニモ癰疔ノ類ニモハダヲ嫌又シ下疳ニモヨシ

○ナツナ子リ

一多ハ子ノ垢ノユトクニメ油ノ如
減モ穢ノ合セヤウモセモ遠
ナシ

右能ハ

一切ノ腫物ウミヲ取アトヲ奇
麗ニメ愈ス也癰疔外疔何
ノ腫物ニモ最上ナリ

○川ナサ膏薬

一多ハ右ノ垢ノ如クニメ油ニ穢モ
合セヤウ同シ

右能ハ

一切ノ瘰癧強キ腫物ニ最上ニ
証ハナツナト同シ如クナリ

○白膏薬

一イヌホウツキヲ多葉古ノ垢

ニシテ油モ穢モ日前也但唐
土ハ色々子リサニシ堅ミリテ入
ヒスリ合儀兩目ハ犬ホウツギ
ヤシホ油穢此色ハニツメ百目
アラハ土ハ三十三又アミリ入ル也
何時モ三分一ト心得ヘシ惣別
唐ノエハツヨキ物ニテ過タルハ
悪シク儀ナリ

右ヒハ

一切ノ疔イエヨリ今女ニテイヘ
ロ又ル收吐膏茶ヲ甘ケ候也

第一吐膏茶ハ愈々跡ハダラ
ウツクシクスル也何ノ腫物ニモ
始メハ悪ク候也

○黄膏茶

一 委脂 五兩 胡麻油 十兩
ヤシヲ三分一 石ハ穢ハ別ノ鋸ニテ
トキ松脂カタニラサル内ニ合セ
候也此内ハ半ノ油一兩半也

右註ハ

癰疔金瘡疔瘡一切ノ古キ
疔ニ是ヲ使ヒ候也

赤膏薬

胡麻油 十兩 ヤシシ 五兩
丹化 三兩 丹 七兩 明化 二兩
燻込

右ノ薬 櫛油ヲヒトキ合丹化
明化ハ三色ヲ巨ホメ油櫛ノ
サメタル時入ル也

右能ハ

癰疔 氣腫 瘡 瘡 金瘡 何レノ
腫物ニテモアシナシラナルトキ
此膏薬甘テ療治スヘシ

金瘡之薬

ヤシシ 十兩 乳香 五兩 小麦 二兩
ブタウ酒 二兩半
人油 半兩
イタクモモ是ヲツ
カフナリ
小麦ニテ取
キヨメ

右ヤシシ人油ブタウ酒三色ヲヒ
トツテハ内エ小麦乳香ヲ入剪シ
置ナリ加減ハ小麦ツブル程莢
シ申候扱垂ニ入テ置申候ナリ
人油取ヤヲ成敗者ノ切口見ト
黄皮ヲ取テ練鍋ニ入炭ニテソ
ロクト油ヲ剪シ出シ取ト也

金瘡療治次第

一 當座ノ瘡ナシハ如何ニモ古酒ヲア
メニメ紙ニシテシ瘡ノロシアラハ
則血モ出ルナリ扱ツシ合縫フ
ナリスニシノ糸ヲ以テ二重ニ廻シ
結キリク縫ナリ先酒ニテ血ヲ
出タラフハ双方ノ切口ニ金瘡ノ葉
ヲヌリ扱ヌフ也其上ニモ葉ヲ
巨甘亦其上ニハ鶏ノ玉子ノ白ミ
ハカリ布ノハツシニヌリ甘置也
冬ハ二日ニ一度度々日々ニ葉ヲ

付カユルナリ瘡ノ口隻モ冬モ洗
フナシ何レノ腫物ニテモ月前
ナリ

一 イクテノ療治モ月前ナリ葉モ
縫フモカワリナシ但イクテハ縫
メル下ノ口中ニ布ハツシヲ其口ノ
廣サ長サニ應メ下ニアテ置シ

録青膏葉

多葉粉 青木 シバエ 各小分
胡麻油 六七又 ヤシシニテ又入
エハサシタノ如ク厚クニメ剪シ

扱穢シ人堅メ候也但録青、白
スリテ後ニサメ候テヨリ入ル也

右能ハ

金瘡子リノ替ニモ尤吉小児ノ

甲瘡ナトニモ吉

○イノンド子リ

一イノンド ウイキヤウ 何モホ分メ
ヤシヲハロリ入剪シ出シ水菜ヲ
遣フナリ但穢シ入テモヨシ

右トハ

萬ノ痛ヲ止ルナリヤケトニモ
吉

此外膏菜百色煉候モ此方次第
乍去此九色ノ外ニ相透煉物元之ト
右南蛮療治ニハ何ノ腫物何ノ疵ニテ
モアシ中ヲ明菜ヲ付ル一成布ハツ
ニテモ枚原ニテモ菜ヲ又リ付ヘツタ
リト付ルナリ疵ヲ洗ハヌト疵口ヒラ
カヌト亦菜ノ付ヤウト是三ツ日本
流トノ替リ也何レモ菜ヲ付テモ
疵アライタルヨリハルカ奇麗ニ成
ナリモタタシニ病切ヲ以療治ス
ヘキ物ナリ第一南蛮流、秘莫ニ

病ノ名ヲムサト不甘ナリ其心得尤
ニ候或ハ癱ノ産ニ生ルモ或ハ疔
ノ産ニ生ルモアリ何モ右ノ
九腫茶ニテ万事仕廻候ナリ惣ノ
妙茶ト云ハハ色九色ニテ諸病
ヲナシ申一口ニ成案ヲ遣ソホ
病人ニ細々當リ甘トハサクニ茶
モ不入候

右之外ニ茶モ不殘相傳仕候者
也他言有間敷候御起請之上ハ
不及申候以上

寛永七年未正月吉旦

西川休間政友在判

木村專爾充

星り前ト別ノ陶書ノ

陶書

左ノ使毒ニ用

丹_中 瓜_中 文_中 弓_大 竹_大 為_中

通_中 羊_中 軟_大 刺_大 官_中 兵_中

車_中 工_中 王_中 没_小 将_大 旬_小

煉_{子小} 液_大 汁_大 北一味

右ノ使毒ニハ

汁_シ 液_ツ 去_テ 簀_ト 倍_々 田_ノ 石

同業秘方

ロ_シ 石_一 面_上 器_ニ 又_リ エ_ノ 三_時 ホ_ト 中_取 出_シ
水_ニ ツ_ケ ケ_テ ホ_シ ス_リ 申_ナ リ

寒水石ニシ 研ニテサツトツロシニ時平

樟腦一兩 口ロラケニ入天目ヲロフセ甚ク

麝香五トエツ其ニリスリ入ル

朱五ト其ニ入ル

右ヒスリ白蜜ニテ子ル

病目血目ニケ目タレ目

疱瘡目ニ入タルニモヨシ惣別紙眼

ニ吉

ツキ目ノ薬

ツニラ藤ヲ黒焼メ口ケ茶ニスル也

国分散

木一兩 半日 白芍日 兵日

朴日 丁子日 茯苓一兩分

山藥二兩 白苓日 小黃連五分

陳皮二兩 飯日 枳木日 姜日

芷一兩分 參二分 芍二兩 桔日

童日 稜日 甘二分 山敗木一兩

良日 羊日 胡椒二分 香二兩

右粉ヲ

ミシヤク下ハラ 淋病二日ヨイ

霍乱食タリラウサイ

ケツソワリ一血道 ハナサワキ

萬虫 痔ノ虫 其外諸病ニヨシ

サユニテ用

○ソコリ 故茶

苦參 牛膝 夏 中藥 菝葜 各

桂 四反 栝 二反 如常 煎用

紫金錠

山茨菰 皮ヲ去テ洗アルニ兩

五倍子 スイソワリ洗アルニ兩

續隨子 二兩 カワラケニスリ又リ付油アトル
一日ホトツケ油トルニ其ニ用

大戟 洗アル 麝香 三又スリテ

以上五味 私日類集于金丹四方
西目女異可互見

右ノ薬ヲケ分テ細ニシ又西目ヨカケ
合テ後ニ麝香ヲスリ入リ正月

ノ餅ニテ丸スヘシ合スル時座敷ヲ
清メテ其座中へ五躰ノカタワ者
不入ナリ

乾

一切ノ吞物クイ物茶ニカイクサ
ニテ毒殺惣ノ諸ノ毒解ニ水ニテ
用

一 癰疽疔瘡瘡名、知又瘡腫物

一切ノ惡瘡凡腫痔何モ酒ニテ用

亦水ニテスリ瘡ノ上ニ昼夜四五

モ甘ルカユキ一ツ覺一テ惣ニテ

ナリツフルウミ出、早ク愈ル

一 傷寒、曾モタヘ狂乱シタワロー

イ、胸フサカリヒラカス、口ニキ

咽トチテフサカリ或ハ喉風トテ

ントハルフサカルニ水ニテ用

一 心忒イタミ諸ノ気ニハウスキ酒カ

ウスキ生薑ノ湯ニテ用

一 赤脈下ハラ霍乱ニハツロヨ剪用

一 諸ノ疼証ニモハツロ湯

一 男セニヨラス俄ニタツレハ狂乱シ

本心ツウシナイナトスルニ好酒

ニテ用

一 中凡口眼ユカミ古強リ物イ、唯

筋ヒキツリ或ハホルフシハ或ハ手足

睡モ、惣身イタミ立居苦シク諸

凡ノ病ニイツレモ酒ニテ用ヨシ

一 クヒク、リ水ニナカレタルモノ子ノ

マロリアタ、カナラハ水ニテ用ニシ

一 蛇ニクワレ犬ニ咬レ何モ悪虫ノ螫
タルニハ酒ニテ用亦疵ニモ付シ

一 虺ニハシヨリ日ノ朝東ニ流ル水ニ用

一 小兒ノ驚ハ五疳腹ノ下ルニ又將

胃ノ煩ニテ黄色ニハシ或ハサホロニ

ノタクイニハツカノ煎汁ニテ用シ

出來モノニハスリテ又ル小兒ニハ大

小ヲハカライテ用ヨ

一 菌ノイタミニ酒ニテスリ合又リ

ア、久シククミテテノニユムシ

一 アケトニハ東ニナル水ニテ付ル

一 年久シキ頭痛兩ノヨロシ痛ムニハ

酒ニテスリハツカサツキ合痛ム

不ニ付ル

一 虫ケニテハシ或ハ脈ハリナトスルニハ

ハツゲツ煎シ用

一 母ノ月水通セサルニハ紅花ツ煎

シ用

一 正手レイ其外何ニテモハヤリ病

ノ所一行ハユキヤニ成共カコリテ

ナリ正水ニテノムシ

ハラミセニハカナラヌ用エニカラス

右ノ藥五月五日七月七日合スル

此藥秘傳ノ方、度々予用得効加神
○濃煎山田振藥

人參 小人クニイモ不苦 川芎

地黄 鉄忌安流干焙 黃芩

黃連 毛ツムヒリテ 當歸

肉桂 火忌上皮去 圭心 石臼

川骨 白朮 車州 火忌

茯苓 上皮ヲ去 丁子 火忌

大黃 鉄火忌 木香 火忌

栝郎子 火忌上皮ヲ去

以上十六味亦分也

右何モ刻ミアフルニ焙リヤウノ口傳ハ
各細末メ別ニミサツトフルイ粉ニ成ヌル
ヲハノケテテ置大粒成ヲアフリ後ニ
粉ヲ加エテ俵ルナリ

俵リヤウハ火ヲワラカメ鍋ノ内ニ
厚キ紙ヲ敷其工ニテ焙ルナリ

十六味ノ内火ヲ忌モ在之候得ル

大秋ハハシヤキ申程ニ焙リ立候

後ニ火ヲ忌モ不忌モ一ツメ焙リ

揚ルナリ左而已コゲサルホトニ

焙ルナリ
茶種凡常ノ拵トハ遠ニ茶屋ヨ
取寄其ニ刻ニ用ルナリ緞令ハ
水ニ浸シ毒ヲ去ロツ去ナトスル
不仕カ山田茶ノ習ナリモヲムシリ
上皮去ト申ハムサクトメ拵ニクキ
故ナリ茶ノタメ念ヲ入ルト申更
ニテハ毎之候
右ノ茶焙リ立候テ凡ハヒカサルヤウニ
巨包候テ置候カ能候服用時ハ
常ノ煎茶一匙ホト宛包ニ人ニモ

人ニモ可被遣候用ヒヤウハ布ニテ
袋ヲヌイ其袋工入アツキ湯ニテ
フリ出シ一服五度六トニ其汁ノ
ニヨリ申込用申候ナリ

能

一 産前 産後 手肩 血道
ニテ枉気色ニ様々ニ煩候ニ第一
ヨク候何レノ病ニ眩暈在之ニ
ヨシ
一 傷寒大熱気ニテ気ヲ失ヒクル
シムニモ又シ

一 頭痛十^トニテ^モ或ハムサト心悪キ
時モヨシ食前食後ニテモ差合

申サス候

一 日中亦分ニ入申候人ニヨリ虫ノ
サシ出ル^リ在^レ之^ノ子^ノ女^ノ

一 上^ノ氣^ノナトニ別^レ而^シヨキナリ

一 産後ニ色々サ^レニ煩^レ替^リ何^レ
先^ニ工^不参^ニ度々^ニ此^ノ業^ニ巨^ク候

以上 此業本森井氏度々得効ノ旨

阿魏回^ル丹^ヲコ^ル

楊梅皮 皮^ヲ去^リキ^サ三^ニ粉^ニメ^テ攪^ス
十六^ニ又

良香 ウス^クキ^ハホウ^{ロク}ニ^テイ^リ
十六^ニ又

但^シイ^リマウ^ハシ^ノサ^キニ^ハ胡^{ハク}ノ^油甘^ク煉^ル

苦^ク十二^ニ又 キ^サ三^ニ粉^ニメ^テ攪^ス

葛^ノ粉^{十二}又 巨^クサ^ラシ^{タル}

至^心 八^ニ又^ニ上^ノ皮^ヲケ^ツリ^去肉^ヲ粉^ニメ^テ

右^ノ赤^メ胡^{ハク}辨^ヲ加^ケラ^キホ^トニ^ハテ
ソ^クイ^ニテ^丸〇^ニ三^ニ粒^五セ^リウ^ニテ
云^フ其^ノ病^ニ應^メ酒^湯水^ニテ^用ユ
大人^小兒^同事^ナリ

麥肢痛虫カフルニ塩湯

下り散赤ハシラ白ハラ五ナト此度ク
タルニ水ニテ用

目洗茶 夢想ノ秘方也

一辰砂 二兩ニテモ三兩ニテモ巨水飛

一明化 何ホトニテモヤキ返粉ニメ

右ノ辰砂、女ツ入女シ白ニ成

ホト如一水ニテウスくとキ目ノ

フナツ洗フ指ヲ又テシサイク洗テ

ヨシ蜜子リニメ用一上々ノミツラ

茶碗ニ入湯煎ニメ子リ申候是

モ成ホト女ツ目ニ指申候多ク

サシテハ目ノ夕夕ニ申候

龍虎丹 赤羽根

車松一匁 丁子一匁 沉香一匁

白且一匁 益知一匁 白朮一匁

蒞一匁 香白朮一匁 木香一匁

煥昂子一匁 圭心一匁 當飯一匁

人ク五ト 十三味

石細末、白蜜ニテ子リ是ホト

ツ、用〇疼症ニロウカ湯也

奇十リ

催生

竹 芎 奴 腹 四味

產前

竹 芎 為 腹 少 干 水

耳 八味

產後

竹 芎 少 伽 苓 干 侯

耳 八味

錦袋田

ナルボク 五拾五友

丁子 計又

閃圭 計又

耳中 四分

射麝香 三分

童腦 三分

右赤丸 在并氏引傳之三八別書

此藥全由銀白之根口下受赤丸三粒
其八等分每月食八別書中記

○諸症用 同傳經驗方

黃連 一又 神軸 一又

史君子 一又 肉豆蔻 一又

木香 一又 枳實 一又

仙人中 一又 三用 陰干 又 黑燒

以系症 用度 得效 常調合

東流許好泉

三白散

大西氏傳

葛粉

天花粉

天南星

右三色粉ニ人

イッレニテモ能ハ

ツツキアルハチリ

ハコニ酢

萬腫イタニ付ル



